

▲土地も四五十アルケーレス持つてゐる。それに珈琲の三四萬も栽培し、現に、二三千俵は、に特殊な缺點のない男だ。片輪で、人間教育はオデヤンの男がある其男をAと名づける。

例へば、昔は管鮑の交をしたAの友達家族が病氣して、ニッヂもサツチも經濟的に、動きが取れぬ羽目にあるで、Aに一時金の融通を頼みに行つたと謂成功者である。

其時Aの返事は、「私は金錢の貸借は、茲十年間一切せんと神前に誓ひました」と。私はこんな男を片輪生活と稱した。片輪の中でもビツコ殖民地持でカフエーフアゼンデイロヂニオで、既に相當樂人の前で幅も利けやうと云ふ、殖民主Bなる男がある。

Bはネゴシオ一天張の男で、ネゴシオであれば、自分の使用た歯糞だらけのつま楊子でも骨らうとする男だ、がさて公共事業だ、寄附しろとの相談になると、其相談の場所を飛んで逃げる男だ。

私は斯んな男を片輪の中でも許し、自分にもそう人間並が見ぬて一方は見ぬぬからだ。斯の外、片手首のないのやらCは自分の好きな喰物であつたら、妻君への事も、子供の事及び一家の生活をカタツとして

片輪生活

▲土地も四五十アルケーレス持つてゐる。それに珈琲の三四萬も栽培し、現に、二三千俵は、に特殊な缺點のない男だ。片輪で、人間教育はオデヤンの男がある其男をAと名づける。

例へば、昔は管鮑の交をしたAの友達家族が病氣して、ニッヂもサツチも經濟的に、動きが取れぬ羽目にあるで、Aに一時金の融通を頼みに行つたと謂成功者である。

Dは錢使ひも綺麗だ。Dの農場には、雜草一本生れてゐない勤勉振た。酒も飲み、友情も相親しく、前から見ても後ろから見ても醜いカタツだからだ。

何故なら、斯んな男はビツコに異のない男と一般、どんなに同じく、片輪生活と稱しても臭いやうな氣がする。

▲親父Eは度々サンパウロ市に上りて居るEの家族を顧みた時、妻君は渡伯幾年跣足だ。靴

▲親父Eは度々サンパウロ市に上りて居るEの家族を顧みた時、妻君は渡伯幾年跣足だ。靴も打ち、酒も呑み、色艶町にも出入するが、相當な財産を造り上げて居るならばと云ふ希望も、當時は、中可成澤山ある。私は矢張是等をカタツ生活だと云ふ。カタツの如き生活者等は邦人殖民者Bなる男がある。

▲矢張土地持でカフエーフアゼンデイロヂニオで、既に相當樂人の前で幅も利けやうと云ふ、殖民主Bなる男がある。

Eの如き生活者等は邦人殖民者Bなる男がある。

▲ノロ線でも一カドの殖民者と全な人間だが、前から眺める一方は見ぬぬからだ。斯の外、片手首のないのやらCは自分の好きな喰物があつたら、妻君への事も、子供の事及び一家の生活をカタツとして

## 植民地の發展と新理想樹立の必要

難波生

## 寄宿舎を訪ねて

コチア小學校

邢珂生

## 植民地の發展と新理想樹立の必要

難波生

## 寄宿舎を訪ねて

邢珂生

## 植民地の發展と新理想樹立の必要

## 電報欄

性  
對相  
大臣から銀牌が傳達される多年移殖  
民事業功勞者は大いに酒を呑めと國

雜報  
フオード會社の  
製產力

醫學士  
オズワルド・ヴ・  
デ・ファリア  
午前九時—十一時  
午後二時—三時

診察時間  
フイリニヤ藥店相  
澤氏を經て通譯致し  
ますから葡語を解し  
ない人々にも大變便  
利です

Casa Asahi  
R. TAGAMI  
Araçatuba  
和洋雜貨小間物  
吉田兄弟商店  
田上良藏  
郵函一二〇八番  
アラサツーパ驛ブモラニス街二  
午後二時—三時

上地  
上地彌藏  
電話二二七〇一  
コンデデナルゼダス街二  
秋田忠太郎  
電話二一五六三八  
コンデデビニヤール街二  
中山忠太郎  
電話二一一五七〇一

●三漁村全滅  
「東京一日發電」本日朝怒濤  
濱の三漁村は全滅して、波浪靜  
まらず遭難者數未だ不明である

●山本代議士刺さる  
〔東京五日發電〕京都第二區  
選出無產黨代議士山本寅治氏は  
今日保守黨員に短刀を以て斃された

●トロツキー重態  
〔コンスタンチノーブル二日  
發電〕當地に於て加療中のレ  
オン・トロツキー氏は頗る重態  
に陥り今は唯伯林より招致した  
る獨人專門醫の到着を待つのみ

●墨國八州の蜂起  
〔メリヤ四日發電〕ペーラ  
クルース州にアギレ、マンゾ  
軍等の指揮する革命が起つたが  
忽ちにしてシノラス・ドランゴ  
コリマの諸州を始め八州の革命  
派相呼應して反旗を翻した。革  
命本軍は首府との通信機關を遮  
断する一方ペーラ・クルース  
の艦船を旗下に治め其勢力は全  
國に波及せんとしつゝある、急  
報と共に大統領ボルテス・ジ  
ル氏は將星を集め陸軍會議を開  
き前大統領カーレス氏を陸軍  
大臣に任命、政府軍は陸軍現地  
に出發しつゝあり戰闘機も既に  
出動準備が整つてゐる。

●H・F・P・B・E・  
大統領就任式  
〔華府四日發電〕ハーバート  
フーバー氏の大統領就任式は本  
日白亞館に於てチャーレス副大  
統領の就任式に次いで壯嚴裡に  
行はれた

●労農政府  
自動車會社新設  
〔モスコ一五日發電〕ソヴィ  
エート政府は年十萬台を製造す  
る直轄の自動車會社創設を決  
した

●讓任後のク大統領  
〔紐育五日發電〕クリーブ  
頓大統領は在職中の題材を基と  
して世界政界史を執筆すべく三  
雑誌社と契約を交した

同マスカボ

五三、〇〇〇

物の蒐集

研究をする所

不當

う一年居るつもりに直ぐなつた  
翌朝から倒れかゝつてゐた物干  
の竿を新しく取替へたり、壁の  
落ちた箇所に泥を丸めるめてつめ  
込んだりした、そして椽の取れ  
てしまつてばら／＼の行李の  
底から大神宮さんのお札や佛さ  
んを取り出して新聞紙で張つた  
シヤボン函に祀つた。  
榮吉は先祖から禪宗だと云ふ  
事だけは知つてゐたがお經の文  
句も知らなければ無論今迄十年  
の暇道にかかると布教師はキリ  
カバ。 村の中では子供に構はず他處  
見もせずに歩くが一度村はずれ

毎年家や小屋は數多く建てるが、置いて去るのが惜しい様なことはなかつた。移轉する頃になると決つて小屋の柱が傾く、屋根は洩る、泥壁は不規則にばら落ちて河風が容赦なく薄い夜具に透つて来る。榮吉一家はそんな流浪に馴れてはゐたが齡も四十に近まつて來ると、其の年の移轉がうとくなつてきた。今年もう一年此處に居やうぢやないか。」  
「ようござりますわ。」  
「生ぐさ坊主やーい」  
「たわけ坊主に石投げたれ！」  
五六日前から其の村を通る布教師を見ると、斯う云ひはして七八人の子供等は石や泥を清い墨染の衣に投げつけで騒ぐの

もこさむる、綿小屋のでつかい、が今妻から何の宗旨にするかと  
のを作る、さてそれから豚小屋  
云はれて見る漫然として「さ  
だ馬小屋だと小屋建てに半年は  
だ仕事の暇をつぶしてゐた。  
轡て大空は澄み、地に綿花の  
白くふき初める頃になると榮吉  
はじつとしてゐられず、視察に  
出歩き、新しい土地と其処等附  
近の成功した人の話を聽かされ  
ると、うかくと移轉して行く  
のだつた、何にも知らん妻や子  
を馬車に山と積んで荷物の上へ  
乗せて……。  
「それならキリスト教？」  
「禪宗？」  
「先祖は兄貴がまつる」  
「淨土」  
「否」  
「真言宗」  
「いや」  
「法華、天理さん」  
「いやいや」

「貴方うちの宗旨は何にしますの。」  
「なかつた。」  
彼自ら手を合した事に気が付いた。さすがに、吉田の心は、さうした事には、何の心事もなかった。  
「貴方うちの宗旨は何にしますの。」  
「二年と處定めて住む様になる」と妻は心を落付けて榮吉に話しかけた。實際榮吉の心は過去十一年空虚と云つてよい。宗教には無関心であつた、満更氣がつかないでもなかつたが毎年の轉地に逐はれたのと、宗教を求むる心が湧かなかつたのと、もう一人は人一倍偏頗な疑ひ深い彼の心に故國に居た時分の經驗を想ひ見ると、心から信する神に不歩いた。泰小屋が建つ、鶏小屋になつてから最も五年余りの間リオバルドの河邊に粗末なサツベー屋根の家を毎年一つ宛建て、ひ見ると、心から信する神に不歩いた。泰小屋が建つ、鶏小屋

近く行李の底に藏まつてあつた  
佛さんに人に讀經して貰つた事  
は、皮肉など合ひと事無く

事實村人が血の出るやうな想ひで寄附した寺院改築敷金も大分行衛を悔ましてゐたのが廳て分ると、坊主は五作の後家に罪な子を棄てゝ、何時の夜か逐轉してしまつた。

「ナニ俺も此の間そんな噂をちらりと聞いたがほんなどことぢやつたか」  
佛は佛でも血の氣のある生佛だつたので、そんな悪戯も仕兼ねないとは想つて見たが今更ながら眼をむいた。  
「あの坊主お寺改築の敷金も油断がならんぞ」  
昨日の生佛さんに早や疑ひばらから次と向へて出た。

長正寺——その寺はS村全部の祖先をまつる菩提寺だ。眞面目らしい住職に信を置いた村の人々は昔も今も疊らず手を合してゐた。余り村人から驕がれたので隣村まで渦ひして何時間にか、布教師は通らなくなつた。S村はまた長正寺の鐘に隨喜の涙を流して盆のお布施に誰も真心を籠めて成可く多く召んだものだ。

と或る日村人は斯う云ふ突びな事を云ひ傳へた。

のつた、時には逃げ場を失つて泣く子がある、それでも子供等は追はれるのが面白さに毎日つき綱つた、布教師は三十ぐらいいの年格構で眼鏡をかけてゐた田舎にはめづらしい若いのに眼鏡をかけてゐるのを其の頃は一概に生ぐさにしたものだ、眼鏡をかけたのが生意氣に見えたばかりじゃない、レ村全部は熱心な禪宗で堅きつてゐるので今更他宗は入れなかつた。あの宗は住職は妻帯を許す邪教だと云つた根本は長正寺の住職たつたのは云ふまでもない。

リツと身體をかへして棒切れを持つたり石を投げかへしたりし

**Dr. H. Saito**  
MEDICO

リヌス邦人 貸自動車同業組合

**HOTEL JAPONEZ**  
EM FRENTE Á ESTAÇÃO NOROESTE  
**BAIRRO**

# Engenheiro Civil

○稻刈鎌  
○ブラン  
○銃器類  
化西線

醫學士 齊藤等

貿易自動車同業組合  
リンス邦人

# BAKU

# 本館旅館

測量 計量 製圖  
中島一男  
エンザキヨウ  
ノロエスチ線  
ルサンビイラ解  
フルセンダ  
アリアンサ内

# 鍛冶工場

◎品質本位 ◎薄利多賣主義  
◎美味しくて——割のきくお醤油は……

**Casa Kageyama**  
ella Cruz, C. P.

**HOTEL PROGRESSO**

日本郵船會社  
特約乗切船符取次局

**澤尾旅館**

バウル 驛前

▼内外雜貨 ▼自働車運搬

▼農產物仲買

**景山雜貨店**

景山博史

**日本旅館**  
Hotel Japonez  
ARAÇATUBA  
内 外 雜 貨  
金 物 △ 其 他 一 切  
農 產 物 仲 買  
屋 比 久 孟 憲  
北 西 線 ア ラ サ ツ 一 バ 事 マ レ シ ャ ル デ ナ オ ド ロ 街  
四 十 九 郵 局 二〇八  
Armazen de secos, molhados  
Compra-se cereais

出張撮影に應じます

林田秀雄

イロエヌヲ線プロミツソン釋

写眞館

御便宜を旨と一計ひます

大

不斬草 新菊等の各種も着荷してをります

支店 バウルー市

瀬木商店

Tabatinguera  
ô Guibo  
GUERA, No. 2  
SÃO PAULO

外賣藥調劑 醫療器具  
調劑は入念、正確、迅速、安價  
◎疾患の早治、速癒は處方、調剤、藥品の品質  
如何にあり。當店は其れに鑑み獨乙製藥品  
其他最良藥品を精撰使用す。尙諸彥の御便  
宜のため日本処方(或る藥品、一業用藥品等)を除  
く外御相談に應ず  
硫黃亞硫酸(アルセニコブランコ)  
(青酸カリシヤムレット)

**Casa Anse**  
zem de Seccos e Molbados  
lachinas de Beneficiar  
Café e Arroz  
Moinho de Fuba  
Araçatuba

**安瀨商店**

珈琲精撰所トロ支吉  
精米所  
アグア・リンバ殖民地内  
アラサツーバ倉庫事務所







# 貴熱病彌夢

### 三万俵办

候。さはれ三匹の靴を引かねば食へぬ實際問題の吾々の性の實際、まあ貴兄等に據る事希望筆を奮つて後援あらん事希望W兄よくよく百姓の泣きごとを聞き度く候。喚草、プロッカと泣かされた上生産物の販路にまで泣いて更またタルケレと言ふ奴にまで言ふ者に御座候。今漸く業深き者に御座候。にしてその發生が始まりたる様に見受けられ申候。二十立のアガを背にして右往左往と舊する有様は仲々冗談沙汰にはもなく焦燥と疲勞は百姓の毒まで縮め申すべく「農夫は樂と唄ふ田園佳人とかいふ奴に寸背負はせても見たく思はれし候。

白銀の綿からまんと黄金とやらをつかまんとした惡縁から兎に角綿作者の關ヶ原もしくは修羅の巷とでも申すべく矢車草の紅の花に灑ぐ雨脚をやりつゝ乱筆勿々如斯に御ざ記者に語つた。

不 一

## 同仁會推獎のマレタ華

◎キニーナ錠剤(一錠百二十錠入)  
此薬品は實費(送料共)一瓶十七ミルレースで差上げ  
ます。但し會員に限り三ミル割引して十四ミルレース  
で差上げます。

在ブラジル日本人同仁  
**DOJINKAI**  
Caixa 2976  
650-00000

**a**  
マキナジヤ。ボネーラ。  
SAO PAULO

精米 珈琲 精撰  
倉庫業並二運送業  
農產物仲買及販賣

na Jap  
cio de Arroz  
spra Cereaes  
ASSANO  
G. 5 . LINS

lachin  
Benefici  
Com  
HIROKI,  
Rua Clavo Bil  
北西綱り  
電話三  
郵函……  
廣  
木  
共同

注野

商工展覽會金メタル受

cenar  
PONEZA  
GI KOO  
AURU'

JAP  
MASSA  
B

農產物仲買  
白米押入月方  
一  
二  
三  
四

白米御入用の方へは  
何時<sup>トモ</sup>にても御用命に應<sup>ヒ</sup>い

Compan  
Café, C  
M. F.  
Tel. 43 P

滑頓  
稽智

卷之三

宗「大根を大きい根と書くのはアリヤ宛字だ、己に満着されて恐れ入つて逃げ歸つたのは可笑しい、あんな字を知らぬ奴は坊主の肩だ、相手にするな」と云ひ乍ら、しきりに中抜を板の上に並べてゐると、向ふの方から最早臨月とも思はる溢るばかりの腹を抱いた一人の女がやつて來て

女「御免下下さいませ」

宗「ハイお出なさい」

女「和尚様は……」

宗「お留守でございますが、一  
体あなたは何方ですか？」

女「ハイ妾は華開院町の丸屋長兵衛の女房でござりますが、一寸和尚様に御願ひ事なく存じまして……」

宗「只今お留守でございますが、どんな御用ですか？」

女「ハイ實は私は御覽の通り妊娠して居ります、全くは先月がうみ月でございましたが、亭主が申し合すには是れまで生れた子は皆女の子、此度は男の子をうめ、男子を生んだら褒美をやる、若し女の子を生まうものなら、其の場でてその子を踏み殺してしまふと斯んなに申しますので、私も實に心配でなりません、それで和尚様がおいで遊ばしたら、この腹の子が男か女かを見て頂きたうございまして眞面目になり

宗「ハ、ア、左様でございます」とまるで養叟和尚を産婆の様に思つて來てゐる、宗純は聞いて

女「左様でござりますか、それでは何うぞ宜敷くお願ひ申しあす」

これ聞いた秀庵は驚いて、

宗「大根を大きい根と書くのはアリヤ宛字だ、己に満着されて恐れ入つて逃げ歸つたのは可笑しい、あんな字を知らぬ奴は坊主の肩だ、相手にするな」と云ひ乍ら、しきりに中抜を板の上に並べてゐると、向ふの方から最早臨月とも思はる溢るばかりの腹を抱いた一人の女がやつて來て

女「御免下下さいませ」

宗「ハイお出なさい」

女「和尚様は……」

宗「お留守でございますが、一  
体あなたは何方ですか？」

女「ハイ妾は華開院町の丸屋長兵衛の女房でござりますが、一寸和尚様に御願ひ事なく存じまして……」

宗「只今お留守でございますが、どんな御用ですか？」

女「ハイ實は私は御覽の通り妊娠して居ります、全くは先月がうみ月でございましたが、亭主が申し合すには是れまで生れた子は皆女の子、此度は男の子をうめ、男子を生んだら褒美をやる、若し女の子を生まうものなら、其の場でてその子を踏み殺してしまふと斯んなに申しますので、私も實に心配でなりません、それで和尚様がおいで遊ばいたら、この腹の子が男か女かを見て頂きたうございまして眞面目になり

宗「ハ、ア、左様でございます」とまるで養叟和尚を産婆の様に思つて來てゐる、宗純は聞いて

女「左様でござりますか、それでは何うぞ宜敷くお願ひ申しあす」

これ聞いた秀庵は驚いて、

男「ヤイ乙の寺に宗純と云ふ小  
主は居るか、丸屋善兵衛と云  
ふ者が會ひたいのだ」  
宗「ハイハイ宗純は私でござ  
いますが何か御用で……」  
善「フム貴様が宗純か太い奴だ  
てゐたが、貴様何で嘘をついた  
人を馬鹿にしやがつて、昨日偷  
女の女房が來た時貴様は何と吐  
つた、確かに男の子に違ひないと云  
つたらう、だが今朝産れ出たの  
は女の子だ、此の嘘つさ坊主め  
ツ、坊主は嘘を吐かないと開いて  
りと衣の裾を捲くり、鰐鉾立  
けろツ」と怒鳴られて宗純平氣の平左  
衛門、一寸も驚かない、忽ちクル  
イリになつて手で歩いてゐる、こ  
れを眺めて善兵衛恐るまい事か  
青筋立てゝ喧しいから  
善「ヤイ小僧何をしやがるんだ  
太い奴だ」と恐つて見たが眞逆相手が  
手だから、手も出せず、唯惡く  
ばかり吐いて歸つてしまつた、  
折から奥の間に居た養叟禪師メ  
あまり表が喧しいから  
養「叱らねばならぬとは誰の事か  
だ……」

成得す  
します  
を以て  
上ます  
下さい  
ランデヤ町

正吾

ムシ、  
エリー

トムシ、  
エリーゼ

Po

ツトル

販賣

アラゴン、  
モニスター、  
ナントニア、  
モニスター、  
アラゴン

並野寅太  
午前中及夜間  
随時

診療

ミツソン町  
ゼラエス街  
萬子店ワキ

時刻間  
前 小内  
店  
omar  
ダ等寄  
土マ  
**HOTEL  
S. PAULO**  
T. NAGATA  
Dr. L. Parigoto  
—LINS—

主 治 X 光線、紫電最新診療、皮膚病、毛髮病、皮膚病、毛髮病  
ドット、内奥北西線、清潔と親切  
田園 菓子製 人 Pi かゆみを  
八 一般皮膚  
類 なファ  
他 乗 合 十  
釋發元后 人

専門館主ルルサツ・アラサツ・スコ病院外線、電氣りょう設置業者、レシヤル・シネマ市オーナー地診察の需め切が當館

モノ 勹薬 パナソニック 水田 宗傳  
スワルドーに應づ▲  
の主義  
▼溝巴線  
よう法  
南大河州軍  
道疾患  
デ・テオ  
バ肆郵  
の主義  
の主義  
モノ 勹薬 パナソニック 水田 宗傳  
スワルドーに應づ▲  
の主義  
▼溝巴線  
よう法  
南大河州軍  
道疾患  
デ・テオ  
バ肆郵

# ソロリゴト クルズ街 薬化研究所 大河内忠雄

五時時 電話 2-4818 ○番九 Hotel

**DR. SÁCADA** MEDICO LINS — **HOTEL HANAYA** RUA SÃO LUIZ **CASA Nishimoto** Pennapolis **Casa HIGASHI** Pennapolis **Hotel e Bar** LINS 石ガ三 ▲ 從

This horizontal block contains a large circular clock at the top right, showing the time as approximately 10:10. To its left is a vertical column of Japanese text: '内外貨賣社' (Kaiwa-sha), '御' (Ogi), '石' (Ishi), '傳' (Den), '不思議に' (Fushigi ni), 'ヤビル氏' (Yabiru-shi), '健' (Ken), '康' (Kou), '穀物' (Koku-mon), '小間' (Komon), '内外' (Na-ai), and '穀物' (Koku-mon). Below this column is the text '(Ponto Jardineira) Alto Cafezal'. At the bottom left is a stylized logo consisting of two overlapping shapes.

新薦醫  
リオ医科  
ノロエス  
外雜貨小  
物類  
雜貨  
仲買  
其日  
他日  
援有  
當驛  
販賣  
岐  
宿  
新  
品  
如何  
齊  
西  
花  
世  
用

主義に改め  
西田正  
リール街  
旅 な  
田 重  
元芳  
郵便  
ホリス  
カブ  
の治療  
ハリス解  
ボリス  
スキー  
ス市役  
田端  
ス驛九月  
郵函  
電話  
所で御座  
にありま  
シテ  
高 宮

, 6